

## 乳癌術後の放射線治療について ー会員の皆様へのお願いー

すでに広く知られるところとなりましたが、昨日女優の岡江久美子さんが COVID-19 肺炎で亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。事務所の談話として「初期の乳がんに対する手術の後に放射線治療を受けていたため免疫力が低下していた可能性がある」との報道がされております。

会員の皆様はよくご存知と思われませんが、早期乳癌手術後に行われる放射線治療は体への侵襲が少なく、免疫機能の低下はほとんどきたしません。現在のところ乳癌術後の放射線治療が新型コロナウイルス感染症の重症化を招くという科学的根拠もありません。照射後の肺臓炎が COVID-19 感染により増悪する可能性は否定できませんが、適切に施行されれば照射後の肺臓炎発症のリスクは極めて低く抑えられます。

報道を見て不安を訴えられる患者様もおられると思われませんが、放射線治療専門医が適切に対応すればまず問題ないことをご説明のうえ、治療を中断することなく、どうか患者様が安心して治療を継続できるようご対応下さい。術後の放射線治療は乳癌の再発リスクを低下させ生存率向上をもたらすことが科学的に強く証明されている大切な治療であることを今一度患者様にお伝えいただけますと幸いです。

公益社団法人日本放射線腫瘍学会  
同 COVID-19 対策アドホック委員会

理事長 茂松 直之  
委員長 宇野 隆